生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	多項目自動分析装置 XN-9100 における破砕赤血球の IPM 判定値(Q-Flag 値)と血小板値の関連について		
1.研究の目的と方法	血液中の細胞成分である赤血球、白血球および血小板などの数や大きさを測定する機械である多項目自動分析装置 XN-9100 では異常細胞を検出した場合に Q-Flag 値とういうデータが出力されます。正常な赤血球が物理的な損傷により断片化した赤血球である破砕赤血球は血小板測定に影響するとされています。今回、破砕赤血球の Q-Flag 値と血小板値の関連性について評価することといたします。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に附属病院にて血液一般及び末梢血液像の検査を受けた方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	該当なし	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査)、診療録	
	(4)情報の取得の方法	診療録及び測定機械から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属病院　中央検査部
		氏名	杉村　亮太
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024 年 4 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院　中央検査部 研究責任者：杉村　亮太（すぎむら　りょうた） 電話番号：03-3433-1111（内線 5265） 対応時間：平日 09：00　～　16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。